

令和 2 年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 3 月 18 日

事務事業名	幼稚園園長参画事業					事業区分		担当			
	政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	010101000102		
	総合計画の施策名 O101 子育て支援及び少子化対策の推進					単独/補助	単独	所属課	090133		
	政策名 O1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							課長名	まかべ幼稚園		
	施策名 O1 子育て支援及び少子化対策の推進							グループ	まかべ幼稚園グループ		
	手段名 O1 ①子育ての支援体制の充実							担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	10	05	01	03	00	まかべ幼稚園事業				
法令根拠						半年度繰返し (昭和52 年度～)					
						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
【事務事業の内容】 国公立幼稚園長及び私立幼稚園長で組織 (全国・県・県西・県連合会・県教育研究会) しており、園長・教頭 (主任) ・教諭の研修会等の開催や会報誌を発行するなど、幼稚園教育の充実を図っている。 県西部地区公立幼稚園長会の役員は輪番制となっており、それに伴って県関係の役員にも関わってくる事となる。	園長・教頭 (主任) ・教諭の研修会等への出席 各負担金の支払い事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
全国幼稚園長会負担金6,000円、県幼稚園長会負担金7,300円、県公立幼稚園教育研究会費1,560円、県西部地区幼稚園長会会費3,000円、県幼稚園連合会負担金 1,170円等	研修会	回	6.00	6.00	0.00	0.00	0.00
	会報発行回数	回	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
園長・教頭・主任教諭・教諭	園長	人	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00
	教頭 (又は主任)	人	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	教諭	人	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
より良い幼児教育を实践していくための情報交換及び、知識や技術を習得する。また、専門性の向上に繋がる。	研修会に参加した職員数	人	6.00	3.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移			30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	0	0
		一般財源 千円	32	44	0	0
		事業費計 (A) 千円	32	44	0	0
	正規職員従事人数 人	4.00人	3.00人	0.00人		
01年度事業費 実績 (千円)						
19 負担金補助及び交付金 44						
02年度事業費 予算 (千円)						
合計				44		0

事務事業名	幼稚園園長参画事業	事務事業No.	10101000102	所属課	まかべ幼稚園
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和52年の開園以来、様々な研修会に参加し、幼児教育の充実を図ってきている。参加することにより、現在の幼稚園における実情や課題などを知ることができ、知識・技術の習得の他に、幼稚園の運営にも大いに役立っている。研修会の中では、先進的な事例の紹介などもあり大変学ぶことが多い。近年における少子化により年々園児数が減少し、公立幼稚園においても閉園や認定こども園に移行する園が多くなっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	幼児教育の中での幼稚園教育要領に準拠している。保護者のニーズも多様化する中、幼稚園経営において多くの幼稚園との関わりを持ち、他園の実態や問題点等について検証するなど、重要な活動となっている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	幼児教育の充実を図っていくためには、専門的な分野での研修は絶対に必要になる。
有 効 性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	主に研修会の開催は、保育の空く夏休み期間中となってくる。幼児教育に関する専門的な分野の講師が行う講演会が中心で、様々な実践等を交えた大変有意義な研修であるため現状のままで良い。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	全国的なものや地域的なものの情報がなくなってしまう、教育方針の一貫性・共通性が失われてしまう。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	特になし。
効 率 性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	人件費的なものは全く無く、講師謝礼・資料の作成経費などが主なもので消減余地は無い。
公 平 性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	教示教育全体の経費であると共に、幼稚園教諭の知識・技術を習得するうえでも参加型であるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	園長参画業務については、多様化する幼稚園経営を遂行していくうえにおいても、多くの幼稚園やこども園とのかわりを持ち、他市園の実態や問題点等について検証する重要な活動である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加										
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	◎																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> C A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>